

2015年10月25日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.85



「市政アンケート」へのご協力ありがとうございます 要望は市担当課へ届けます

毎年、市議団が取り組んでいる「市政アンケート」に1200通の回答を寄せていただきました。身近な要望は各地域で現地調査などおこない、市の担当課へ要望書を提出していきます。

また、市議団では、来年度の予算要望を作成し、市長へ要望を提出していきます。その参考にさせていただきます。各地域の要望をまとめてみました。

【北国分・堀之内】

・ボランテアで北国分駅前の清掃は大変ありがたいのですが、花壇の設置は無用だと思います。高さのある花壇は転倒のおそれもあり、多くの人が集まるところには不向きで、高額の予算が使われていることにも、ビックリしています。

・北国分に小中学校がほしいです。

・堀之内のバス道路の電柱が邪魔だと思いますが、何とかならないものでしょうか。

・北国分・堀之内管内に交番を設置してほしい。

【中国分・国府台】

・ヤオコー前の道路が狭すぎる。

・中国分坂上のバス停付近の冠水は、以前に比べれば改善はされたものの、大雨の際などバス降車後、

道路に水が冠水し、歩行に支障がある場合が多い。

・坂の多い地域の道路には、老人が休憩する長椅子を設置して下さい。

・松戸街道の国府台小学校前は、古い急階段の歩道橋しかなく、信号がないため、市川駅から買い物帰りの老人たちは、トラックなどはげしい道

道を歩かざるを得ない状況です。



市川真間駅周辺に14階建が2棟

路を車両のあいだをぬけて渡るしかない。早急に信号機を設置してほしい。

・国府台5丁目公園の柵が壊れている。私物の植木が放置されている。子どもたちのために時計を設置してほしい。

【市川・真間】

・市川駅から松戸車庫行きのバス道路のいたみがひどい。1丁目から松戸街道に出るまで。道路が高くなり、水が歩道側にたまる。

・大雨の時、市川駅のダイエー裏、急な坂道に水がたまり通れない。

・シャポー小岩側の横断歩道の位置を変更してほしい。「止まれ」の表示をつけてほしい。

・市川真間駅周辺に高層マンションが増えて、ビル風がすごい。ビニール傘が何回も飛ばされた。お年寄りが転倒している。

【八幡】

・国道14号と京成八幡駅（東京寄り）の道路に路上駐車が多すぎて危ない。何とかしてほしい。

・市役所前の歩道がとて

も狭く、道路の真ん中に電柱があり、自転車も通行して危ない時が多々ある。電柱だけでも何とかならないかと思えます。

・国道14号、本八幡駅付近の歩道、側溝のふたがデコボコで歩きにくい。電柱も邪魔です。

・藪知らずの前の道は、自転車を下りて通行するようにしてほしい。82歳の母が後方からの自転車にあてられ、自転車は逃走。幸い2カ月後に歩けるようになりましたが、自転車も怖いのです。

・富貴島小の校門側に信号機を設置してほしい。

・市役所近くの歩道橋。もっと外観をきれいにしてほしい。

【東菅野】

・東菅野広小路と、農協菅野店のところ、横断歩道の白線が消えかけているので、塗り直してほしい。

【菅野・須和田】

・真間川の府中橋と須和田橋の間にかかる青色の橋が老朽化している。補修が必要と思う。

戦争法廃止へ 日本共産党 国民連合政府よびかけ

戦争法（安保法制）は、安倍自民公明政権のぐり押しにより、国会を通過しました。しかし、大勢の国民は、たたかいはこれからと、「アベ政権」を倒すまで、頑張ろうと、各地域での宣伝、署名、集会、国会前にも集まっています。

日本共産党は、強行採決後「戦争法廃止の国民連合政府を実現しよう」と多くの団体、個人に呼びかけました。

「戦争法廃止の国民連合政府」提案の3項目

- ①戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいを発展させる
- ②戦争法廃止の「国民連合政府」をつくる
- ③政権構想に合意した野党が選挙協力をすすめる

日本共産党の志位委員長は、この間、民主党の岡田代表、社民党の吉田党首、生活の党の小沢代表と相次いで会談し、野党協力へ始動しました。また、各界の皆さんとの懇談も続けています。「しんぶん赤旗」に掲載された一部を紹介します。

「オールジャパン」で粘り強く運動 辺野古基金共同代表 菅原文子さん

いま日本は、民主主義の第2ステージに立っていると 생각합니다。共産党の提案、とつてもいいと思います。沖縄・辺野古への新基地建設に反対する「オール沖縄」のように、今度は「オールジャパン」でこの政府の実現のために国民が粘り強く運動していかねければなりません。

選挙で政権交代は「わが意を得たり」 慶応大学名誉教授・弁護士 小林 節さん

「戦争法」と呼ぶ以外にない、明白な憲法違反の法律を、数を頼んで強

行するのはまるで全体主義です。最終的に国政選挙で決着をつかなくてはなりません。いろんな分野、課題で自民党政治を完全に終わらせてほしい。

社会は変わると実感

「安保関連法に反対するママの会」発起人

西郷南海子さん
強行成立に心の底から抗議するとともに「ママの会」は会名から「案」をとり再出発しました。私たちが生活の中から上げた声は、国会の演説にも盛り込まれ、政治も無視できなくなりました。

「手作りの民主主義」は新たに始まりました。野党は市民の声を実現するために共闘してほしい。



3 野党と会談（10月4日付しんぶん「赤旗」日曜版）

《主な活動報告 9、10月》

★9月18日 「長寿を祝う会」が開催

勤労福祉センターで2回目の「長寿を祝う会」が開かれました。今回は参加された80歳以上の18人に、紅白まんじゅうと写真立てがプレゼントされました。各地域ごとに分かれて、それぞれの戦争体験などを出し合い安倍政権を打倒するため、元気にがんばろうと話しました。

★9月26日 西部地域後援会のバス旅行

毎年行っているバス旅行。今年は銚子市から旭市へ。39人が参加しました。銚子市内でヒゲタ醤油工場の見学、銚子灯台のもとで食事、外房から銚子電鉄に乗りました。帰りに、東日本大震災の津波被害にあった旭市に。当日の写真などを展示しているホテルの一室でDVD鑑賞。防災の大切さも学習しました。

★9月30日～10月4日 「市川平和展」が開催

「市川平和展」が開かれ、多くの市民が足を運びました。さまざまな展示、また、DVD上映、詩の朗読会、満蒙開拓団のお話、「戦争法をめぐるたたかいと展望」の講演会など、多彩な取り組みが行われました。

★10月12日 「国府台フジバカマの里」シンポ



和洋女子大学キャンパスで、「国府台フジバカマの里」魅力発見シンポジウムが開かれました。場所は旧坂川河口と江戸川にはさまれた地域で、県内ではほとんど見られなくなったフジバカマ、ノウルシ、ノカラムツなどの貴重な植物が群生し、河川敷には広大なオギ原が広がっています。